

令和8年3月12日（木）岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
岐阜かかみがはら航空宇宙博物館指定管理者 (公財)岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	藤田 阪野	電話 058-386-8500 F A X 058-386-9912
航空宇宙産業課 企画連携係	伊藤 武邑	内線 3765 直通 058-272-8837 F A X 058-278-2653
各務原市 観光交流課 観光振興係	野田 林	直通 058-383-9926 F A X 058-389-0765

令和7年度そらはくフォトコンテストの受賞作品が決定しました

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（愛称「^{そらはく}空宙博」）では、空宙博の魅力を伝える「そらはくフォトコンテスト」（募集期間：令和7年9月1日～12月26日）を開催しました。このたび、専門家による審査の結果、応募作品206点の中から受賞作品を下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

なお、3月15日（日）に空宙博で表彰式を開催し、同日から8月30日（日）まで作品を館内で展示します。

記

1 最優秀賞

作品名：あこがれ

撮影者：^{やまのべ}山野辺 ^{あんな}杏菜さん



2 優秀賞

作品名：初めての操縦

撮影者：^{しらい}白井 ^{みちこ}路子さん



3 審査員特別賞

あかつか さとし
赤塚 聡 賞
わかこ ジェット
若子 jet 賞

作品名：未来への礎

いいだ たかゆき
撮影者：飯田 享之さん

作品名：見上げてごらん

こみなみ りゅうのすけ
撮影者：小南 龍之介さん

4 入選（6点）

作品名：空へ続く

さとう かよ
撮影者：佐藤 香代さん

作品名：洗練美

とうない あきひこ
撮影者：藤内 彰彦さん

作品名：桜の頃

あだち おさむ
撮影者：足立 治さん

作品名：外翼格納、ヨシ！

たけだ りんたろう
撮影者：竹田 倫太郎さん

作品名：はねやすめ

てらざわ ちえ
撮影者：寺澤 智恵さん

作品名：俺たちの夢

ふるた しょうけん
撮影者：古田 彰謙さん

5 表彰式

日時 令和8年3月15日（日） 午後2時～

会場 空宙博1階 S1ゾーン

授与者 赤塚 聡 氏（航空写真家）

若子 jet 氏（写真家・長岡造形大学デザイン学科助教）

6 作品展

期間 令和8年3月15日（日）～ 8月30日（日）

会場 空宙博1階 スペースボックス渡り廊下

料金 入館料のみ必要

備考 受賞作品を含め、応募作品をすべて展示

7 審査員コメント

赤塚 聡 氏（航空写真家）

今回のコンテストには200点を超える力作が寄せられ、今年も楽しみながら審査させていただきました。「空宙博」をテーマにした撮影は、どうしても撮影環境に制約が生じがちですが、そのなかで皆さんが創意工夫を凝らして撮影された作品の数々には、審査員として多くの発見と驚きをいただきました。それぞれの視点から「空宙博」の魅力を見事に表現した作品がそろい、大変見応えのあるコンテストとなりました。

若子 jet 氏（写真家・長岡造形大学デザイン学科助教）

空宙博での鑑賞体験や、空への憧れをそれぞれの視点で切り取った見応えのある審査となりました。最優秀賞「あこがれ」は、宇宙飛行士を見上げる我が子たちの後ろ姿を通し、航空・宇宙の夢を象徴的に表現しています。またその瞬間を見守る家族、撮影者の視点が重なり、物語性を感じさせる作品でした。「初めての操縦」は広角レンズによって、体験の高揚感と臨場感をダイナミックに描いています。若子 jet 賞「見上げてごらん」は飛翔感を見事に再現し、「空へ続く」は空宙博の建物造形美を美しく捉えた魅力の一枚です。空を見上げる喜びや、人と航空文化との関係がそれぞれの作品から伝わり、未来へ継承したい素晴らしい作品たちが印象的でした。

<参考>コンテスト概要

1 募集作品

令和6年以降に撮影された、空宙博の施設や展示物、イベント等の魅力を伝える写真

2 応募規定

どなたでも参加可能（プロ、アマ問わず。ただし個人に限る）。一人につき最大2点まで応募可

※組写真、加工・編集された画像のものは不可（トリミングのみ可）、自作未公表の作品に限る。

3 募集期間

令和7年9月1日（日）～12月26日（金）

4 応募作品数

121人・206点

5 賞

最優秀賞 1点（賞状・副賞5万円）

優秀賞 1点（賞状・副賞5万円）

審査員特別賞（赤塚聡賞・若子jet賞） 各1点（賞状・副賞1万円）

入選 最大6点（賞状・記念品）

6 審査員

・赤塚 聡 氏（航空写真家）

岐阜県各務原市出身。航空自衛隊岐阜基地のかたわらで育ち、小学校高学年の時に写真と出会う。高等学校卒業後、航空自衛隊に航空学生として入隊。百里基地の第204飛行隊でF-15J イーグル戦闘機のパイロットとして勤務した後、カメラマンに転向。

主として軍用機の撮影を得意分野とし、同乗による空撮（動画含む）を手掛ける。現在、数々の航空専門誌に作品を発表するほか、各種航空機カレンダーの制作・撮影などを担当する。空宙博の令和4年度企画展「ウェルカム ファントム」では、「F-4 EJ改431号機」の新規展示に合わせ、館内でF-4の写真展を実施した。

その他の役職等：日本写真家協会（JPS）会員、日本航空写真家協会（JAAP）会員

・若子 jet 氏（写真家・長岡造形大学デザイン学科助教）

岐阜県出身、名古屋造形大学卒業。撮影スタジオ、出版社や制作会社に勤務後、独立。数々の広告やアーティスト撮影をする一方、国内外の写真ギャラリーや美術館、写真集出版など発表多数。代表作に「センチメンタルガール」「キッチン aGO!!GO!! 浪花編」など。

エネルギーに溢れた色彩感覚と絵画のような作り込まれた世界観で人気を博すとともに、写真文化のために、積極的に全国各地で公演やセミナーを開催。若手の育成にも関心を持ち、全国の高校や大学で写真表現の指導や、国内外の写真コンテスト等における審査員を歴任。近年は作品研究に加え、理論研究も積極的に行っている。

その他の役職等：EOS 学園東京校講師、全日本写真連盟関東本部委員